取扱説明書

チェックバルブ

CV1 シリーズ

JIS記号

安全にご使用いただくために

ご使用いただく上でまちがった取扱いを行いますと、商品の性能が十分達成できなかったり、大きな事故につながる場合があります。
事故発生がないようにするためにも必ず取扱説明書をよくお読みいただき内容を十分ご理解の上、正しくお使いください。
尚、不明な点がございましたら、弊社へお問合せください。

株式会社 TAIYO
〒533-0002
大阪府大阪市東淀川区北江口1-1-1
URL:http://www.taiyo-ltd.co.jp

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「危険」「警告」「注意」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、ISO 4414※1)、JIS B 8370※2)およびその他の安全規則に加えて、必ず守ってください。

⚠ 危険：	切迫した危険の状態で、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠ 警告：	取り扱いを誤ったときに、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠ 注意：	取り扱いを誤ったときに、人が傷害を負う危険性が想定されるとき、および物的損害のみの発生が想定されるもの。

※1)ISO 4414：Pneumatic fluid power Recommendations for the application of equipment to transmission control systems
※2)JIS B 8370：空気圧システム通則

⚠ 警告

- 空気圧機器の適合性の決定は、空気圧システムの設計者または仕様を決定する人が判断してください。
- 充分な知識と経験を持った人が取り扱ってください。

圧縮空気は取り扱いを誤ると危険です。空気圧機器を使用した機械・装置の組立てや操作、メンテナンスなどは、充分な知識と経験を持った人が行ってください。

- 安全を確認するまでは、機械・装置の取り扱い、機器の取り外しを絶対に行わないでください。

1)機械・装置の点検や整備は、被駆動物体の落下防止や暴走防止などがなされていることを確認してから行ってください。

2)機器を取り外す時は、上述の安全処置が採られていることを確認し、システム内の圧縮空気を排気してから行ってください。

3)機械・装置の再起動を行う場合は飛び出し防止の処置を確認してから行ってください。

- 仕様に適合した環境でご使用ください。

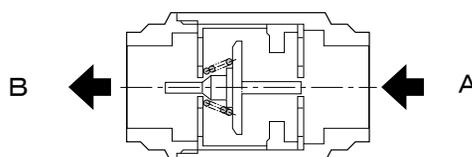
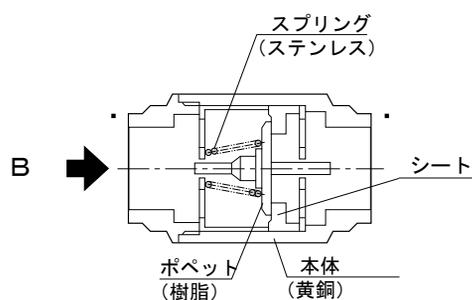
原子力・鉄道・航空・車両・医療機器・飲料や食料に触れる機器・娯楽機器・緊急遮断装置・プレス用安全装置・ブレーキ回路・安全機器など人や財産に大きな影響が予想され、特に安全が要求される用途や屋外で使用される場合は当社にご連絡くださるようにお願いいたします。

仕様

項目＼形式	CV101	CV102	CV103	CV104	CV106	CV108
接続口径	Rc1/8	Rc1/4	Rc3/8	Rc1/2	Rc3/4	Rc1
有効断面積 mm²	16	19	57	75	138	225
注)流量 L/min(ANR)	1000	1200	3700	4900	9100	14900
使用流体	空気、腐食性のないガス、および低粘度の液体					
使用圧力範囲	0.05～1MPa		0.02～1MPa			
耐圧力	1.6MPa					
クラッキング圧力	0.05MPa以下		0.02MPa以下			
使用温度範囲	0～＋80℃(但し、凍結しない状態で使用のこと)					
給油	不要(給油でも可)					
質量 g	30	30	210	210	290	500

注1)・0.5MPa時の流量です。

動作原理

Ａ側から入った圧縮空気はポペットを押し押し開きＢ側に流れます。

Ｂ側から入った圧縮空気はポペットとシートとのシール作用で流れを阻止します。

取付けに関する注意事項

 危険

本体にＪＩＳ記号を明記しております。取付けの際は十分に方向を確認してください。方向を間違えますと機器類が予期せぬ動きをし危険です。

JIS記号

流れ方向